

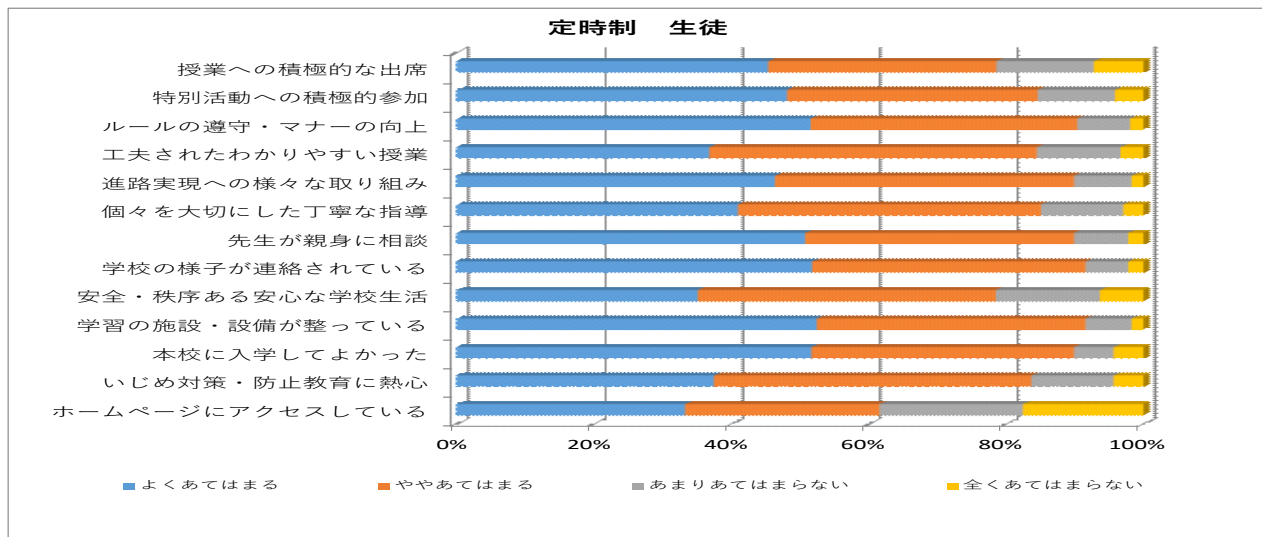
平成29年度 学校評価結果について

1 生徒アンケート（定時制・通信制）から

- (1) 定時制では、「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、3項目を除いた全ての項目で80%以上という高い割合になっている。指導の成果が数値として明確に表れていると言える。

80%に届かない3項目の中で特に「13. ホームページにアクセスしている」の項目は、昨年度に引き続き低い数値となっている。外部からのアクセス数は非常に高い数値を示しているが、今後は本校生徒にとっても魅力あるホームページにしていこうことや生徒にアクセスを促していくことが課題であると言える。

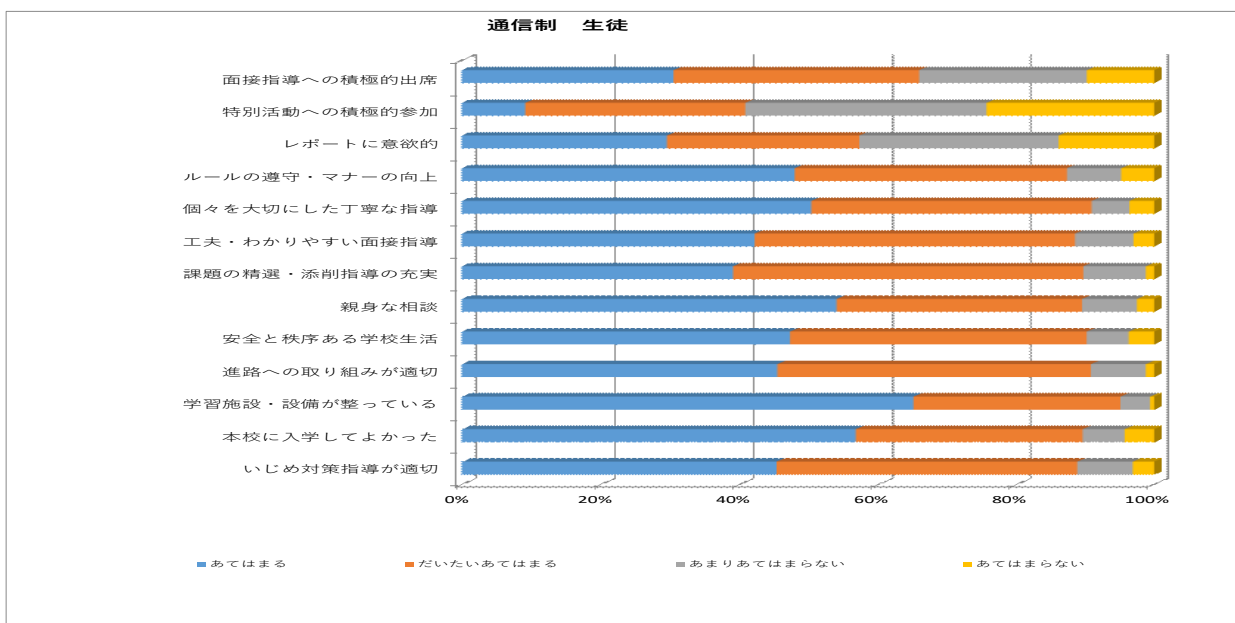
総合的に見ると90%の生徒が「本校に入学して良かった」と評価しており、極めて高い評価が得られていると言える。引き続き個を大切にしながら指導に努めていきたい。



- (2) 通信制では、「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、3項目を除いた全ての項目で80%以上という高い割合になっている。学習環境についての満足度は高く極めて良好な状況と認められる。

「特別活動への積極的参加」の項目については他の項目と比較してかなり低い傾向にあり、今後生徒が参加したくなるような、魅力ある行事を企画していくことが求められる。

総合的に「本校に入学して良かった」というプラス評価は、90%と非常に高い数値を示しており、生徒にとって良い環境が実現していると考えられる。

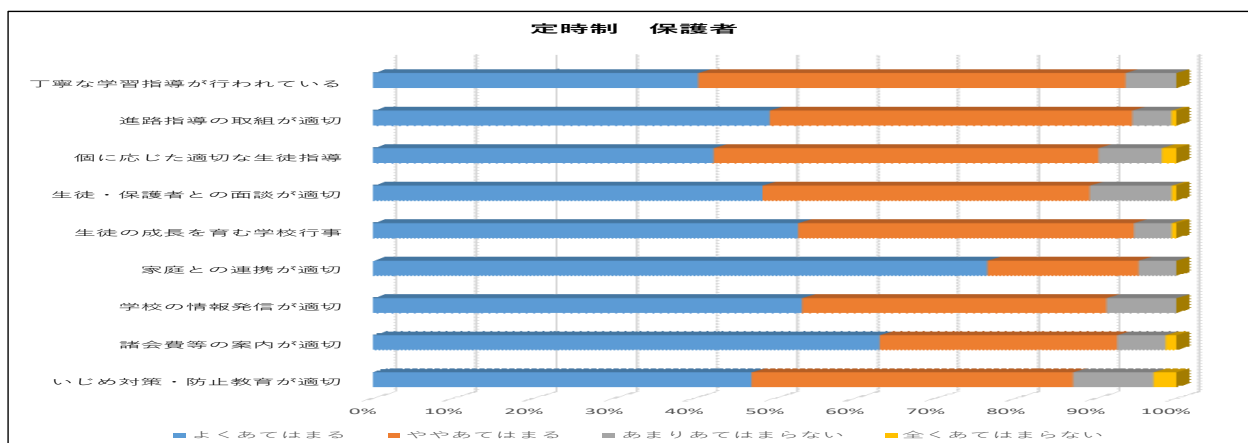


2 保護者アンケート（定時制・通信制）から

ほぼ全ての項目において、80%を超える保護者が肯定的な回答をしている。下回った項目は「家庭で子供とよく話す」「学校行事に自分も参加したい」という通信制の2項目のみだが、これらは保護者自身の振り返りの結果のものと言える。また、「諸会費の案内が適切」「いじめ対策・防止教育が適切」という定時制の2項目については「わからない」との回答を減らしていく工夫が課題である。

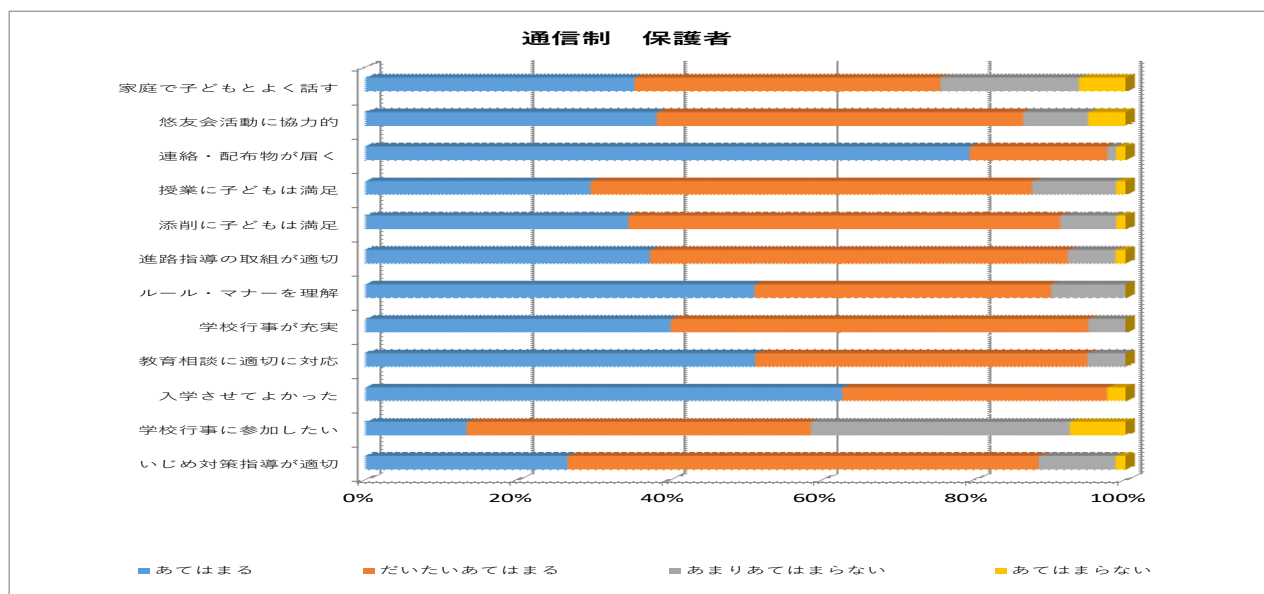
定時制・通信制の特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導には、ほぼ理解が得られていると考えられる。面談・学校行事・保護者との連携などにも、80～90%以上と高い評価を受け、生徒の学校生活に役立っていると判断出来る。また、定時制の「家庭との連携が適切」、通信制での「学校からの連絡や配布物が届く」の項目については極めて高い評価が得られており、学校に対する信頼の高さに繋がると考えられる。

総合的に見て、本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念との合致が認められると思う。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努め、教育活動が展開できるようにしたい。



※ 定時制保護者のアンケートには回答の中に「わからない」の選択肢があり、その人数は上から15・9・8・6・3・3・12・24・33人である。

ただし、保護者のアンケートの回収率が低く、定時制・通信制ともに30%台で、回収率を高めることが次年度からの課題である。



[参考]

アンケート回収率：定時制生徒 77.1% 通信制生徒 64.6%
 定時制保護者 31.3% 通信制保護者 32.3%

